

第26回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成21年4月24日

テクノ交流館リコッティ（日本原子力学会北関東支部総会 会場）

2. 来訪者：10名

3. 説明概要：

日本原子力学会 北関東支部総会ポスター発表会場の展示エリアにおいて、ITER機構職員募集および登録の案内を行うとともに、学会参加者に資料を配布し、模擬面接ビデオを紹介した。（ITER協力調整グループ 安東SGL、上野）

4. 主なQ&A

Q：各ポジションに要求される経歴が詳細で、自身の経歴にぴったりと合うポジションが少ない。どのポジションに応募したらよいのか？

A：Job Descriptionに記載された条件を自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的に応募したらよいと思います。

Q：複数ポジションに対して、同時に応募することは可能か？

A：複数のポジションに同時に応募することは可能です。応募できるポジション数に制限はありません。

Q：登録制度を利用すると、どんなメリットがあるのか？

A：登録者には、公募情報を含めた情報を直接メールにより提供するだけでなく、模擬面接ビデオの閲覧、面接英語のトレーニングなど、面接に役立つような支援を実施しています。

Q：ポジションの募集は、今後もあるのか？

A：想定している定員は600人程度であり、まだしばらく募集があると思われます。しかし、今回の募集のように80人規模の募集は、めったにないことだと思います。

Q：フランス語を話せる必要があるのか？

A：ITER機構での仕事の公用語は英語なので、英語ができれば基本的に問題はありません。フランス語が必要とされるポジションもありますが、その場合はJob Descriptionに記載されています。また、ITER機構の職員や家族は、現地で無料

のフランス語のレッスンプログラムを受講することができます。

Q：どのような人材が多く求められるのか？

A：募集が多いのはITER 装置の建設を担当する研究者・技術者です。核融合装置の経験のある研究者・技術者以外にも、機器開発の経験者、国際プロジェクトの経験者など幅広く、人材を求めています。

Q：採用されたらどこで働くのか？

A：勤務地はフランス南部のカダラッシュになります。

Q：カダラッシュではどこに住むのか？

A：エクサンプロバンス、マノスクなどのカダラッシュ近郊に住むことになります。

Q：面接はどこで受けるのか？

A：面接はテレビ会議システムを用いたビデオ面接です。JAEA那珂研やJAEA東京事務所のテレビ会議システムを用いて受けることが可能ですが、ネット環境と機材があればどこでも受けられます。



原子力学会北関東支部ポスター会場にて 展示エリアの様子